令和8年度　大出区立恵上第二小学校　自己評価　報告書

○ 本校の概要　　令和8年5月1日

●児童数480名、学級数20(第1学年3クラス、2～6学年3クラス及び特別支援学級3クラス)、教職員28名。
●大田区の中央に位置し、住宅の多い落ち着いた雰囲気のある、緑多い閑静な地域です。公園といった児童が安心して遊べる場所に恵まれています。地域に根差し、地域に温かく見守られてきた歴史と伝統がある。
●学校支援地域本部、親子教室、放課後子ども教室、中央小「百町会の家」の活動が盛ん。PTAやPCOの会、保護者や地域の方による読み聞かせや図書のボランティア活動が活発である。
●3年間の「学校・家庭・地域のルール」を定め、「地域の中の学校」として、保護者や地域に開かれた学校を目指している。
●「不登校対策の重点」として「協働「学校・家庭・地域」」を推進し、「学校」を「家庭」と結び、「地域・家庭・学校が共に育ち合う」、充実したたくましい未来を創り出す人材(児童)の育成に努めている。
★「恵二小の目指す児童像」「いつしか二学小 恵二の子」「けんこうな心と体 恵二の子」「にこにこあいさつ 恵二の子」の合言葉として、「知」「徳」「体」のバランスのとれた児童の成長を促している。
★「学校の教育課程」では、次の教育教科「おおたの未来づくり」の実施があり、「地域の創造」「もの づくり」「食育をふまえて、「子育ての教育づくり」や教材開発、地域との連携を推進していく。
また、今までの校内研究で培ってきた授業のユニバーサルデザイン化や読書活動・家庭学習の取組を継続し、「基礎・基本を身に付け、主体的に学習に取り組む児童の育成」を推進している。

大項目	方向性	取組内容	取組指標	評価時期	目標に対する成果指標	評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄 評価	人数	コメント
生き抜く力を育成し、未来社会を創造的に生きる子供を育成します。	社会の様々な課題を分析し、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく態度や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために必要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満がおおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満がおおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	【児童】 ●大田区調査「コンピューターやインターネットを活用して情報収集し、自分の考えをまとめたり発表したりすることができる」 で肯定的回答をした6年生の割合 ●学校生活アンケート「困ったり悩んだりしたときに、友達と話し合って自分の考えを深めたり広げたりしている」 で肯定的回答をした割合 【保護者】 ●教育活動に関するアンケート「家庭では「SNS向上第二小学校のルールを守って、タブレットやSNSを使用している」子育て約束」 で肯定的回答をした割合	4:全て80%以上 3:全て70%以上 2:全て60%以上 1:いずれかでも60%未満		A	
		②学校内外での様々な体験活動や自己目標をもつ習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満がおおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満がおおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4				B		
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通じ、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満がおおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満がおおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4				C		
								D		
お世話になった目標を担う2つの人材育成を目指す都市です。	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に親しみ、尊重する心や、協力しようとする態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、異国力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満がおおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満がおおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	【児童】 ●全国学力学習状況調査「英語の勉強は好き」 「英語の勉強は大切だと思う」 で肯定的回答をした6年生の割合 ●学校生活アンケート「将来、情報的に英語を使うような生活をしたり職業につけたりしたいと思う(3～6年生)」 で肯定的回答をした割合 【保護者】 ●教育活動に関するアンケート「学校は、地域の活動や行事に協力したり、地域の特色を生かした教育活動を行ったりしている」 で肯定的回答をした割合	4:全て80%以上 3:全て70%以上 2:全て60%以上 1:いずれかでも60%未満		A	
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習・人権教育を推進し、自分と世界と人とのつながりを考えさせ、相手を理解し、互いに尊重し合うための育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満がおおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満がおおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4				B		
		③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満がおおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満がおおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4				C		
								D		
一人ひとりの基礎・基本が確かな性と能力を育成し、発揮する学校教育目標を実現します。	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な職場づくりを進めます。	①道徳科を中心とした各教科等で学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満がおおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満がおおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	【児童】 ●学校生活アンケート「先生はあなたのよいところを見つけてくれる」 「あなたには、よいところがある」 「運動をたくさんしたいと思う」 で肯定的回答をした割合 【保護者】 ●教育活動に関するアンケート「我が子は、友達と関わったり、本を読んだりすることを通して心豊かに成長している」 「我が子は、同級生との家庭学習に取り組んでいる」 「我が子は「早寝・早起き・朝ごはん」「朝読」など生活習慣を通して健康増進に取り組んでいる」 で肯定的回答をした割合	4:全て80%以上 3:全て70%以上 2:全て60%以上 1:いずれかでも60%未満		A	
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、多様性安心実施を通じ、豊かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満がおおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満がおおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3				B		
		③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満がおおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満がおおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4				C		
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満がおおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満がおおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4				D		
		①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満がおおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満がおおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	【児童】 ●学校生活アンケート「先生はあなたが分かるまで教えてくれる」 で肯定的回答をした割合 【保護者】 ●学校公開アンケート「こども同士が話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりしていたか」 「授業の目標がよくわかるものであった」 で肯定的回答をした割合	4:全て80%以上 3:全て70%以上 2:全て60%以上 1:いずれかでも60%未満		A	
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満がおおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満がおおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4				B		
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満がおおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満がおおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。	4				C		
								D		
自分の目標を持ち、伸びやかな心を育て、生き生きと生きる。	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機会の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満がおおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満がおおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	【児童】 ●学校生活アンケート「学校は楽しい」 「学校には困ったときに相談できる大人がいる」 で肯定的回答をした割合 【保護者】 ●教育活動に関するアンケート「我が子は、楽しく学校に通っている」 「学校は、こどもの様子や保護者からの相談を受け止めて対応している」 で肯定的回答をした割合	4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満		A	
		②学校いじめ防止基本方針に沿っていじめの未然防止・早期発見・早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。	4				B		
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意識した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満がおおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満がおおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4				C		
								D		
安心感のある教育環境を創造し、安全・安心な学習空間を確保します。	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満がおおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満がおおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	【保護者】 ●教育活動に関するアンケート「学校は施設整備や熱中症予防対策などに努め、こどもが安全に生活できる環境づくりをしている」 で肯定的回答をした割合	4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満		A	
		②避難訓練や安全指導日などを通じて、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満がおおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満がおおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4				B		
								C		
								D		
恵二学園ビジョン・目指す子供像を、家庭・地域の連携・協働による地域コミュニティの核として、ともに育てます。	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体でこどもたちを育成します。	①地域コミュニティの核としての学校づくりを目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満がおおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満がおおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	【児童】 ●学校生活アンケート「地域の人に挨拶をしている」 「地域や社会をよくするために、みんなで使う公園などを誰もが気持ちよくなるように使っている(4～6年生)」 で肯定的回答をした割合 【保護者】 ●教育活動に関するアンケート「家庭では、挨拶などの基本的な生活習慣やマナーについて躾をしている」 「家庭では、学校行事や地域行事に積極的に参加している」 で肯定的回答をした割合	4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満		A	
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満がおおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満がおおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4				B		
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満がおおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満がおおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4				C		
								D		

○「I 成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である　B:自己評価はおおむね適切である　C:自己評価は適切ではない　D:評価は不可能である　の4点について、評価した人数を記載する。